
キュウリ灰色かび病の生態ならびに防除に関する研究

第1報 宮崎県における発生実態と被害の概況について

川 越 仁・岩 橋 哲 彦・後 藤 重 喜

(宮崎県総合農業試験場)

近年、キュウリのビニールハウス栽培における灰色かび病の発生は、ハウスの形状、栽培様式および防除技術などの変遷にともなって著しく増加の傾向にあり、その被害は、生育中における落果が特に注目されるが、さらに最近では箱詰輸送中における発

病が問題となり、市場病害としてもきわめて重要視されるに至った。ここでは、本病のこのような発生と被害の概況について述べ、その防除対策の重要性について論及する。

